

# 臨床栄養学

疾患別編

第3版

◆ 序 ..... 本田佳子, 曽根博仁

## 第1章

### 代謝疾患・栄養障害

本田佳子(1~4), 飯田薫子(5~8)

14

1 糖尿病	15	6 ビタミン異常症	31
2 脂質異常症	20	7 ミネラル異常症	34
3 肥満症, メタボリックシンドローム	24	8 アシドーシス, アルカローシス	35
4 高尿酸血症	28		
5 低栄養(栄養障害)	31	A <sub>dvanced</sub> 2型糖尿病患者の症例	38

## 第2章

### 消化管疾患

鞍田三貴

40

1 口腔・歯科疾患	41	3 下部消化管疾患	47
A. う蝕	41	A. 便秘	47
B. 歯周病(歯周疾患)	42	B. 下痢症	48
C. 口内炎, 舌炎	42	C. 炎症性腸疾患: クローン病	50
2 上部消化管疾患	43	D. 炎症性腸疾患: 潰瘍性大腸炎	51
A. 胃食道逆流症	43	E. 過敏性腸症候群	52
B. 胃潰瘍, 十二指腸潰瘍	45	A <sub>dvanced</sub> NST(栄養サポートチーム)介入が必要なクローン病の症例	53
C. たんぱく漏出性胃腸症	46		

## 第3章 肝・胆・膵疾患

平野 雄(1), 真次康弘・伊藤圭子(2) 55

<b>1 肝疾患</b>	56
A. 肝炎	56
B. 肝硬変	58
C. 脂肪肝	60
D. 非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) ・ 非アルコール性脂肪肝炎 (NASH)	61
E. その他の肝疾患	63

<b>2 膵・胆道系疾患</b>	64
A. 胆石症・胆のう炎	64
B. 急性膵炎	65
C. 慢性膵炎	66

閉経後の女性に胆石症の頻度が高まる要因  
の解説（ホルモン分泌に関連して） 68

## 第4章 循環器系疾患

宮本佳代子 70

<b>1 高血圧</b>	71
A. 高血圧	71
B. 二次性高血圧	73
<b>2 動脈硬化</b>	73
<b>3 虚血性心疾患 (狭心症, 心筋梗塞)</b>	76
<b>4 心不全</b>	77

<b>5 不整脈</b>	78
<b>6 脳血管疾患 (脳出血, くも膜下出血, 脳梗塞)</b>	79

血圧の日内変動 81

## 第5章 腎・尿路系(泌尿器系)疾患

吉川 瞳(1~5),  
名和田清子(6, 7) 83

<b>1 慢性腎臓病 (CKD)</b>	84
<b>2 糖尿病性腎炎</b>	86
A. 急性糸球体腎炎	86
B. 慢性糸球体腎炎	90
<b>3 ネフローゼ症候群</b>	90
<b>4 腎不全</b>	91
A. 急性腎不全	91
B. 慢性腎不全	92

<b>5 糖尿病性腎症</b>	94
<b>6 透析療法</b>	96
<b>7 尿路系疾患</b>	101
A. 尿路結石症	101
B. 前立腺肥大症	102

24時間蓄尿とたんぱく質制限食 103

## 第6章 内分泌系疾患

飯田薰子 106

<b>1 下垂体異常</b>	107
A. 下垂体性巨人症, 先端巨大症	107
B. 成長ホルモン分泌不全性低身長症	107
C. 尿崩症	107
D. ADH 不適合分泌症候群 (SIADH)	108
<b>2 甲状腺異常</b>	109
A. 甲状腺機能亢進症	109
B. 甲状腺機能低下症	110
<b>3 副甲状腺異常</b>	111
A. 副甲状腺機能亢進症	111
<b>4 副腎異常</b>	113
A. クッシング症候群	113
B. アルドステロン症	114
C. アジソン病 (副腎皮質機能低下症)	115
D. 褐色細胞腫	116
<b>Advanced パセドウ病患者の症例</b>	117

## 第7章 神経・精神系疾患

宮崎由子 119

<b>1 認知症</b>	120
A. アルツハイマー病型認知症	120
B. 脳血管性認知症	122
<b>2 変性疾患</b>	123
A. パーキンソン病	123
B. 脊髄小脳変性症	126
C. ギラン・バレー症候群	126
<b>3 摂食障害</b>	127
A. 神経性やせ症	127
<b>4 アルコール依存症</b>	132
<b>5 精神疾患</b>	134
A. うつ病	134
B. 統合失調症	136
<b>Advanced 意識障害の判定</b>	137

## 第8章 呼吸器系疾患

三浦由美子 139

<b>1 上気道疾患</b>	140
A. かぜ・インフルエンザ	140
<b>2 気管・気管支疾患</b>	140
A. 気管支喘息	140
<b>3 肺疾患</b>	141
A. 肺炎	141
B. 肺結核	143
<b>4 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)</b>	144

**Advanced 換気障害** 145

## 第9章 血液・造血器系疾患

大山博子 147

<b>1 出血性疾患とは</b>	148	<b>3 造血器系腫瘍</b>	154
<b>2 貧血</b>	148	A. 急性白血病	154
A. 鉄欠乏性貧血	148	B. 慢性骨髓性白血病	157
B. 巨赤芽球性貧血	152		
		 食事がとれない患者への対応の実際	158

## 第10章 運動器(骨格系)疾患

下方浩史 160

<b>1 骨粗鬆症</b>	161	<b>4 サルコペニア</b>	166
<b>2 骨軟化症, くる病</b>	163	<b>5 ロコモティブシンドローム</b>	168
<b>3 変形性関節症</b>	165	 たんぱく質同化抵抗性	170

## 第11章 免疫・アレルギー系疾患

小竹 茂, 本田佳子 172

<b>1 アレルギー疾患</b>	173	C. 全身性強皮症 (SSc)	183
A. 食物アレルギー	173	D. シェーグレン症候群	184
B. アトピー性皮膚炎	176		
C. 莖麻疹	178	<b>3 後天性免疫不全症候群 (AIDS)</b>	185
<b>2 自己免疫疾患</b>	179	 食物アレルギーのリスク因子の発見や画期的治療法への期待	186
A. 全身性エリテマトーデス (SLE)	179		
B. 関節リウマチ (RA)	181		

## 第12章 感染症

田邊嘉也 188

1 はじめに	189	B. 症状が回復してきたとき	192
2 食中毒とは	189	5 感染症対策	192
3 食中毒の病態	189	A. 感染症法について	192
A. 細菌性食中毒	189	B. 大規模食中毒対策	192
B. ウイルス性食中毒	191	C. 院内感染対策	193
4 感染性胃腸炎（食中毒）での栄養食事療法	192	D. 院内感染対策の実際	193
A. 症状が激しいとき	192	Advanced 食中毒への対応	196

## 第13章 がんとターミナルケア

武井牧子 198

1 はじめに	199	B. 栄養基準	204
2 がんの診断	199	C. 栄養補給	205
3 がんの治療	199	D. 栄養指導	205
A. 外科治療（手術療法）	199	6 消化管のがん：食道、胃、大腸 (結腸・直腸)	206
B. 化学療法	200	A. 食道	206
C. 放射線治療	201	B. 胃	210
D. 集学的治療	202	C. 大腸（結腸・直腸）	210
4 がんの終末期（緩和ケア、ターミナルケア）	202	Advanced GPS による悪液質の分類と制御	213
5 がんの栄養管理	203		
A. 栄養評価	203		

## 第14章 周術期の管理

加藤チイ 215

1 術前の栄養マネジメント	216	4 消化管以外の術後	221
2 消化器・消化管術後	216	Advanced 消化器・消化管術後の食事について	222
3 人工肛門造設	220		

**第15章****クリティカルケア**

今本美幸 224

<b>1 クリティカルケアの特徴</b>	225	<b>B. 熱傷</b>	228
<b>2 栄養食事療法の特徴</b>	226	<b>C. 集中治療</b>	230
<b>3 各論</b>	227	<b>D. 急性感染症</b>	231
<b>A. 外傷</b>	227	<b>Advanced 救急救命時の管理栄養士の役割</b>	232

**第16章****摂食機能障害**

府川則子, 金丸晶子 234

<b>1 咀嚼・嚥下障害</b>	235	<b>3 消化管通過障害</b>	250
<b>A. 診断・評価</b>	235	<b>A. 診断・評価</b>	250
<b>B. 栄養食事療法</b>	240	<b>B. 栄養食事療法</b>	250
<b>2 口腔・食道障害</b>	248	<b>Advanced NST (栄養サポートチーム) の介入が奏功した摂食嚥下障害例</b>	251
<b>A. 診断・評価</b>	248		
<b>B. 栄養食事療法</b>	249		

**第17章****障害者に対するケア**

吉川 瞳 254

<b>1 身体障害, 知的障害</b>	255	<b>Advanced 身体測定</b>	259
---------------------	-----	----------------------	-----

**第18章****小児疾患**

杉浦令子 261

<b>1 たんぱく質・エネルギー栄養障害 (PEM), 栄養失調症</b>	262	<b>B. メープルシロップ尿症</b>	273
<b>2 乳幼児下痢症 (ウイルス性胃腸炎)</b>	263	<b>C. ガラクトース血症</b>	273
<b>3 周期性嘔吐症 (アセトン血性嘔吐症)</b>	265	<b>D. ホモシスチン尿症</b>	274
<b>4 アレルギー疾患</b>	266	<b>E. 先天性副腎過形成症</b>	274
<b>5 小児肥満</b>	269	<b>F. 先天性甲状腺機能低下症</b>	274
<b>6 先天性代謝異常症</b>	272	<b>G. 尿素サイクル異常</b>	274
<b>A. フェニルケトン尿症</b>	273	<b>H. プロピオノ酸血症</b>	275
		<b>I. メチルマロン酸血症</b>	275
		<b>J. 糖原病</b>	275
<b>Advanced 高度肥満の症例</b>	278		

## 第19章 妊産婦疾患

河原田律子 280

1 肥満とやせ	281	4 妊娠糖尿病	287
2 貧血	283		
3 妊娠高血圧症候群	284	A <sub>dvanced</sub> 妊娠中の食事が子どもの健康を決める—DOHaD 説	292

## 第20章 高齢期疾患

府川則子・金丸晶子(1), 渡邊啓子(2) 294

1 高齢期疾患	295		
A. 老年症候群	295	A <sub>dvanced</sub> 褥瘡：寝たきりにおける体位変換とスキンケア	301
2 褥瘡	298	A <sub>dvanced</sub> 高齢者への食事の調整	302

◆ 付録 臨床で役立つ基準範囲一覧	監修／本田佳子・曾根博仁 304
◆ 文献一覧	306
◆ 索引	314

## Column

連続グルコースモニタリング (continuous glucose monitoring : CGM)	19	神経伝達物質とは	136
フラッシュグルコースモニタリング (flash glucose monitoring : FGM)	19	呼吸商 (respiratory quotient : RQ)	144
カーボカウント	20	立ちくらみ	157
酸性食品、アルカリ性食品について	36	サルコペニア肥満とかくれ肥満	168
食物繊維について	49	食物依存性運動誘発アナフィラキシー	179
フィッシャー比について	59	仮性アレルゲンについて	180
脂肪肝の新診断基準 MAFLD (代謝関連脂肪肝)	61	本分野における管理栄養士国家試験：その傾向と対策	184
加工食品の食塩相当量の表示	72	BCAA (分枝アミノ酸)	221
トランス型の不飽和脂肪酸	74	震災におけるクラッシュ症候群 (挫滅症候群)	228
嚥下障害と食事	80	低温やけど	229
糖尿病性腎臓病 (DKD) の概念	94	アテトーゼとは？	258
透析患者の栄養障害	100	ロタウイルスワクチンについて	264
アルコールパッチテスト	134	乳児期肥満が良性肥満といわれる理由	276
		若い女性の食生活と妊娠・出産への影響	290